

令和 6 年第 9 回 日高市教育委員会会議録

開催の日時	令和 6 年 9 月 19 日（木曜日） 午後 1 時 45 分から 4 時 51 分まで
会議開催の場所	市役所 501 会議室
会議の公開又は非公開の別	公開。ただし人事案件については非公開。
非公開理由	個人に関する情報が含まれるため。
出席委員の氏名	中村一夫（教育長）・山川治美・島村由起男・芳澤佐織・馬場優子
欠席委員の氏名	なし
説明員の職氏名	教育部長 滝沢淳・教育部参事 長嶋伸一・教育総務課長 中條智則・学校教育課長 下ノ坊圭・学校教育課副参事 澤田秀一・生涯学習課長 吉野修・生涯学習課副参事 松本尚也・高萩小学校校長 原 政幸・高萩中学校校長 河村康郎
出席した事務局職員の職氏名	教育総務課主幹 大河原夏樹
傍聴者数	2 人
会議資料の名称	会議次第、教育長報告、議案第 23 号～28 号

議題及び決定事項等

議案第 23 号 日高市立小学校、中学校及び義務教育学校の通学区域に関する規則の一部を改正する規則

【原案どおり可決】

議案第 24 号 日高市教育委員会防犯カメラの設置及び運用に関する要綱の一部を改正する告示

【原案どおり可決】

議案第 25 号 日高市文化財保存活用地域計画策定等庁内委員会要綱

【原案どおり可決】

議案第 26 号 日高市文化財保存活用地域計画協議会委員の委嘱について

【原案どおり可決】

議案第 27 号 日高市立図書館協議会委員の委嘱について

【原案どおり可決】

議案第 28 号 令和 7 年度当初教職員人事異動の方針について

【原案どおり可決】

会議の経過

1) 前回会議録の承認事項 出席委員異議なく承認

2) 教育長報告の要旨

○教育委員会部課長会議、校長会議における教育長指示・伝達内容について報告した。

○その他、各部課長から、実施した事業等の結果と今後の予定を報告した。

3) 教育長報告についての質疑及び答弁の要旨

【教育長報告関連】

(委員) 高萩地区は隣接型小中一貫校ということで、一体型や分離型とは違い、良い面も悪い面もあると思う。中学校の行事に小学校高学年が参加する取組を行っており、中1ギャップの解消という観点ではよい取組であると思う。しかし、小学校低学年のところへ中学生が出向くような取組は行っておらず、低学年が小中一貫の恩恵を受けられていない。上級生へのあこがれのような気持ちを醸成させることは大切なので検討してもらいたい。

(委員) 小学校と中学校で1つのプールを利用しているが、どのようなスケジュールで運用しているのか。

(高萩中学校校長) まず、6月頃から中学生が利用し、その後、水かさを下げながら小学生が利用している。

(教育長) 中学校のプールを改修する際、小学校のプールの規格に合わせてかさ上げを行った。

(委員) 小学生が中学校に体験入学する取組について、対応は中学校3年生のうち受験が終わった生徒としているが、別の時期に行ってもよいのではないか。

(高萩中学校校長) 例年、2月の下旬に行っており、私立受験の生徒は進路が決まっているが、公立受験はこれからの時期となる。2年生の対応でもよいかもしれない。

(委員) 体育祭について、義務教育学校は1年生から9年生まで一緒に実施しているが、高萩小中はどう考えているか。

(高萩中学校校長) 現在小学校、中学校とも3クラス平均で人数が多いため、規模的に難しいと考えている。合唱祭なども同じ考えであるが、なかよし音楽会に出場する小学校5年生を交えて実施はしているところである。

(委員) 小学校1年生から3年生も一貫教育の恩恵が受けられるよう検討してもらいたい。

(高萩中学校校長) 今年度の取組として、朝の読み聞かせを中学校の図書委員に実施してもらおうと考えている。

(委員) 小学校校舎と中学校校舎を結ぶ渡り廊下を作ることによって、南北の動線が分断されないか、また、屋根が付かないことも使用に不便を感じる。

(教育部長) 屋根を設置するには、建築確認が必要となり、それにはバリアフリー基準の充足などが必要となる。また、計画経路上の障害物の移設等の問題もあり、屋

根の設置が難しいところである。

(委員) 小学生は中学校のプールへはどのように移動しているのか。

(高萩中学校校長) 靴を履き、小学校と中学校の校庭がつながっている個所があるので、そこを歩いて移動している。

(委員) 隣接型の小中一貫校を維持していくことは大変だと思う。校長や教職員が変わると元の小学校と中学校に戻ってしまうことがある。

(委員) 中学校のプールでは小学生には深いのではないか。

(教育部長) 小学校プールの規格に合わせてかさ上げする改修を行っている。

(委員) 施設隣接型の難しさを感じる。義務教育学校では、前期課程と後期課程で授業時間を合わせるようにしているが、そこはどう考えているのか。

(高萩小学校校長) 現在検討しているところである。

(高萩中学校校長) 3クラス平均だと、教員の余裕が少なくなってしまうという課題がある。そこが解消できればと思っている。

(委員) タイピングスキルアップの取組は他校では聞かない。何故そこに注力しているのか。

(高萩中学校校長) コンピューターに対する抵抗を減らすのが目的であるが、こうしたスキルは目に見えて向上するため、それが自信につながり学力にもつながっていくと思っている。

(委員) 思考力、考える力を身に付けることも大切にしてもらいたい。

(高萩中学校校長) 思考力の向上については、昨年度から様々なことに対して、理由を考えさせるようにしている。何故そうなるのか、何故そう思うのかなどを考えることによって思考力を養えるようにしている。

(高萩小学校校長) コンピューター技術は必須のものなので、小学校でも学ばせようと思っている。

(委員) パソコンを使って受験できる英検があるが、タイピング入力が求められるので、そのスキルがないと諦めてしまう。

(委員) 小中一貫教育のよい取組は、各学校で共有したほうがよい。

(委員) 各校それぞれの特徴を校長レベルでディスカッションする場はあるのか。

(高萩中学校校長) 小中一貫推進委員会で担当教員が情報交換を行っている。

(教育長) 月1回校長研究協議会を行っており、そこでも情報交換は行っている。

(委員) 小学校では何年生から実施するのか。

(高萩小学校校長) 小学校3年生頃からを考えている。

(委員) キーボード操作は現在の多くの仕事で必要となっている。脳の発達を考えると4年生位からがよいかもしれない。

(委員) プール授業について、中学生が小学生をサポートするのもよいかもしれない。

(委員) 中学校の理科の教員が3クラス平均で2人であると、授業時間数の都合で担任が持てなくなってしまうのはいかがなものかと思う。

(委員) 令和7年度の新入生について、今後の推移はどうなっているのか。

(学校教育課長) 今まで3クラスであった北小学校が2クラス、4クラスであった高麗川小学校が3クラスで推移していく予想である。

(教育部長) 以前北小学校が減少傾向にあった時期があったが、20年程前に都市計

- 画法の規制緩和があり、市街化調整区域に住宅が多く建築されたことにより、子どもが増え増加に転じていたが、現在はまた減少傾向となっている。
- (委員) 英検の受験者について、2級、準1級の受験者がいるが、どのようにしてそのスキルを身に付けたのかを調べておいたほうがよい。今後の英語教育を考える中で参考になると思う。
- (委員) 地区体育祭について、今後は分館対抗では実施しないのか。
- (生涯学習課長) 地区によって違いはあるが、誰もが楽しめるイベントに変わってきている。
- (委員) 分館長は盆踊りや体育祭を行うのが主な役割であるが、やることが無くなってしまう。脈々と続けてきた行事が無くなっていく転換期なのかもしれない。あると面倒だと思うが、無くなると寂しくなってしまう。替わる行事を考えてく必要がある。
- (委員) 分館対抗ではないが、イベントがあると、集まるきっかけとなる。
- (委員) 教育講演会「子ども主体の教育～はじめに子どもありき～」はどういった内容か。
- (学校教育課長) 教えない教育に関係する内容で、教員の価値基準ではなく、子ども一人ひとりの特性を理解して関わらなければならないといった内容であった。一斉授業のやり方も見直していかなければならない時期にきている。
- (委員) 教員の資質が一定程度なければ実践は難しいと思う。努力目標や理想論ではなく具体的に何をどう取り組むかを考えなければならない。小中一貫教育で自由度が増すことを期待したがあまり進んではいないように感じる。実践するには教員数が足りない。公立学校では難しいとは思いますが、クラス編成とは別に習熟度でグループ分けをして指導するなどしなければ、今の人数を見ることは大変である。
- (学校教育課長) 学力や心の育成などバランスよく高めていくために全国的に様々な模索を行っている段階である。
- (委員) 文部科学省が主体性、非認知能力が掲げられて数年たつが、なかなか実践されない。教員の負担が増してしまい、逆にやりたいことができなくなっていないか心配である。
- (委員) 主体的な学びは 40 年も前から言われている。なかなか理想と現実の差が埋まっていない。
- (教育長) 一朝一夕でできるものではないが、最近、教員どうしの話し合いで教えない授業について議論されることが増えてきていおり、よい傾向であると思っている。
- (委員) 方法論を早く打ち出さなければ進まないと思う。
- (委員) 2 学期が始まったが、不登校の状況はいかがか。
- (学校教育課副参事) 現在集計しているが、少し増えている印象である。
- (委員) 英検で 5 級を受験する生徒がいるようだがどういうことか。
- (学校教育課副参事) 原則は 3 級としているが、場合によっては 4 級、5 級も可としている。
- (委員) 英検について、中学 3 年のこの時期に一斉に受験させているが、1 年生の頃から英検の紹介をしたほうがよいと思う。早い段階から周知し、受けてみたいと思う子どもが準備できるようにしたほうがよい。

4) 議案についての質疑及び答弁の要旨

議案第23号から25号 【質疑なし】

議案第26号、27号 【非公開のため記載せず】

議案第28号

(委員) 参考資料として県の方針を添付したほうが、違いが分かってよいと思う。

5) その他

(1) 次回定例会の日程等について

○10月定例会：10月24日（木曜日）午後1時40分から 委員了承

○11月定例会：11月28日（木曜日）午後1時40分から 委員了承